

2024年3月14日

～地域に眠る環境価値（Jークレジット）を創出し、脱炭素の地産地消を促進～

「Jークレジット補償保険」の販売開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、株式会社バイウィル（社長：下村 雄一郎）とJークレジット制度におけるプログラム型[※]プロジェクトの運営・管理者向けに「Jークレジット補償保険」を開発し、3月から販売を開始します。

本商品は、対象機器が自然災害等で罹災し、Jークレジット創出量が減少した場合に、減少した販売収益を補償する保険です。当社は、本商品の提供を通じて、Jークレジット制度の活用を促進し、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※ 複数のCO₂削減・吸収活動を取りまとめ、1つのプロジェクトとして登録する形態です。単独ではプロジェクト登録が困難な小規模の削減活動も、取りまとめることでJークレジット創出が可能となります。

1. 開発背景

Jークレジットの創出は登録・申請に時間と費用がかかり、小規模な削減活動では採算がとりにくい。そのため、複数の削減活動を取りまとめるプログラム型プロジェクトを検討するケースが増えています。一方、プロジェクトの参加者を集め、削減活動を集約する負担は大きく、プログラム型プロジェクトの活用が進まない課題の一つとなっていました。

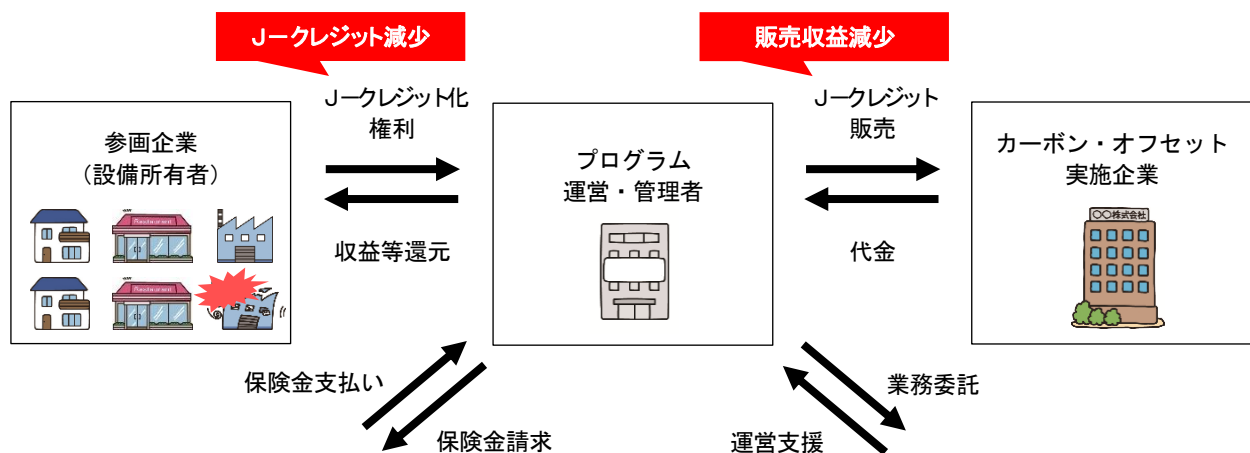
こうした状況を踏まえ、両社は、プログラム型プロジェクトの活用促進を目指した検討を開始し、バイウィルがプログラム型プロジェクトの運営・管理者を支援し、当社がJークレジットの対象となる機器が罹災した場合の収益減少を補償する仕組みを構築しました。

＜Jークレジット制度の概要＞

Jークレジット制度とは、省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、企業や自治体等が実施するプロジェクトによって得られた、CO₂等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。発行されたクレジットは他の企業等に売却することができ、購入者はカーボン・オフセット等に活用することができます。

2. 商品概要**(1) 特長**

プログラム型プロジェクト参画企業のJークレジット対象機器が自然災害で罹災し、プログラム運営・管理者のJークレジット創出量が減少した場合に、その販売収益の減少に備える保険商品です。

① 本商品の仕組み

②主な対象機器：太陽光発電設備、空調設備、照明設備、電気設備、蒸気ボイラー 等

(2) 各社の役割

| 会社名 | 役割 |
|--------|--|
| 三井住友海上 | J-クレジットの対象となる機器の罹災により、プログラム型プロジェクトの運営・管理者等のJ-クレジット販売収益が減少するリスクを、保険でカバーします。 |
| バイウィル | プログラム型プロジェクトの運営・管理者からの業務委託を受け、運営支援を行います。 |

3. 今後の取組

当社は、地域金融機関や自治体等のプログラム型プロジェクトの導入・運営を支援し、安定的な制度運営を支えます。また、CO₂等の温室効果ガス排出量削減のノウハウを持つ当社提携先企業と連携し、地域の脱炭素取組みを支援することで、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

<参考>会社概要

・株式会社バイウィル

| | |
|---------|---|
| 本社所在地 | 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-21 群馬ビル6階 |
| 設 立 | 2013年11月11日 |
| 代 表 者 | 代表取締役CEO 下村 雄一郎 |
| 事 業 内 容 | 環境価値創出支援事業、環境価値売買事業、脱炭素コンサルティング事業、ブランドコンサルティング事業 等 |
| U R L | https://www.bywill.co.jp |

以 上